

# きたまち

わたしたちは“北海道の暮らしたいまち オンリーワンづくり”を目指します

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

## 2024年度活動報告書



## 目次

一般社団法人 北海道まちづくり協議会  
2024年度活動報告書 (2024.4.1～2025.3.31)

---

[2024年度 活動テーマ]  
協議会活動のこれからを考える～魅力ある協議会活動のために～

■ ごあいさつ   .....	01
■ 主な年間活動   .....	02
■ まちづくり支援事業   .....	03
■ 交流研修事業   .....	11
■ 情報広報関連事業   .....	16
■ 組織・役員   .....	17
■ 会員一覧   .....	18



一般社団法人 北海道まちづくり協議会  
会長 能戸 裕之

## 『協議会活動のこれからを考える～魅力ある協議会活動のために～』

2024年度の事業報告書をお届けするにあたり、日頃より当協議会の活動にご理解とご支援を賜っております会員の皆さま、関係機関の皆さまに心より感謝申し上げます。

本年度は、法人設立10周年を契機とした振り返りを踏まえ、「協議会活動のこれからを考える」をテーマに、次の10年に向けた新たな一歩を踏み出す一年となりました。各部会や研究会では、地域の現場に寄り添った支援活動を展開するとともに、会員の皆さまには、研修や交流事業を通じて情報や経験を共有しながら、協議会活動への理解と関わりを深めていただけるよう取り組んでまいりました。

特定地域で展開した事業では、地域の実情に即した支援を通じて、住民や関係団体との協働のあり方を模索しながら、まちづくりに関する実践的な知見を深める機会となりました。こうした事業を通じて、協議会の役割は単なる技術的助言にとどまらず、地域との合意形成や継続的な関係構築を支える存在であること、また、地域ごとの状況に応じた柔軟な支援体制の重要性を改めて認識するに至りました。これらは、今後の事業展開を考える上での重要な示唆となっています。

また、昨年度に浮き彫りとなった事業の進捗や部会間の連携に関する課題については、今年度、部会間の横断的な連携強化やプロジェクトの重点化を通じて、活動の進め方そのものを見直す取り組みを進めてまいりました。各部会が連携して事業を推進する体制が徐々に形成されつつあり、協議会活動の新たな展開に向けた基盤づくりが着実に進んでいます。こうした取り組みを今後も継続・発展させ、より魅力ある協議会活動へとつなげてまいります。

今後とも、当協議会の活動にご理解とご参画を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事会等会議開催状況			
総 会	第1回通常総会	5月30日	於：かでの2.7 710研修室
2024年5月30日・17時30分より、かでの2.7・730会議室において、「2024年度通常総会」を開催しました。議決権を有する正会員数79名のうち57名(委任状出席者25名を含む)に出席いただきました。2024年度通常総会では、2024年度の事業報告、収支決算報告について審議、承認されました。			
理 事 会	第1回 理 事 会	5月10日	於：緑苑ビル 201会議室
	第2回 理 事 会	10月29日	於：緑苑ビル 201会議室
	第3回 理 事 会	3月28日	於：緑苑ビル 201会議室
臨 時 理 事 会		5月30日	於：かでの2.7 750研修室
理事会の 電磁的決議 (定款第34条第2項 に基づく)	第1回 決 議	4月24日	2号研究会設立承認(新幹線駅周辺まちづくり支援研究会)
	第2回 決 議	6月12日	作業等業務委託の発注及び管理技術者の委嘱についての承認(長万部駅東口地区土地区画整理事業施行者支援)
	第3回 決 議	8月29日	2号研究会設立承認 (恵み野地区まちづくり支援研究会)
業 務 執 行 会 理 事 会	第 1 回	4月24日	於：協議会事務所
	第 2 回	10月16日	於：協議会事務所
	第 3 回	3月13日	於：協議会事務所
常 務 理 事 会	第 1 回	4月16日	於：協議会事務所
	第 2 回	10月8日	於：協議会事務所
	第 3 回	3月7日	リモート開催
事 業 企 画 会 議	第 1 回	4月13日	於：協議会事務所
	第 2 回	6月21日	於：協議会事務所
	第 3 回	8月30日	於：協議会事務所
	第 4 回	2月14日	於：協議会事務所

他団体会議への出席	
北海道建築設計会議	3回開催・出席無し 於：日建設計北海道オフィス 会議室

環境取組事業
地域の環境保全に貢献することを目的に、令和5年度の事業収入の1%程度を活用し、環境や自然保全などに取り組む公益的団体に寄付。支援等を実施する事業として、まちづくりの推進を目的とするさぼーとほつと基金に寄付を実施。

## まちづくり支援事業の実施状況

### ① まちづくり研究事業

事例収集につき未実施

### ② 講師派遣事業

講師		内容	開催日
中山祐二 (株)中山まちづくり計画舎	土 地 区 画 整理事業	北海学園大学 工学部建築学科(都市計画) ～現行制度とその特性1(土地区画整理事業)～	10月21日
		藤女子大学 人間生活学科(まちづくり論) ～まちを再生する(土地区画整理事業の仕組みと特徴/具体事例を交えて)	11月19日
田中絢人 (株)ドーコン	市 街 地 再 開発事業	北海学園大学 工学部建築学科(都市計画) ～現行制度とその特性2(都市再開発事業と建築)	10月28日
		藤女子大学 人間生活学科(まちづくり論) ～まちを再生する(都市再開発事業の仕組みと特徴/具体事例を交えて)	11月26日

### ③ 受託事業

業務名	委託者・納期	概要・業務委託料・実施主体
長万部駅東口地区土 地区画整理事業施行 者支援業務 委託	長万部町 令和6年6月3日～ 令和7年3月31日	概 要 : 長万部町に定期滞在し施行者(長万部町予定)が行 うべき業務を補助 委 託 料 : 8,052,000 円(税込み) 実施主体 : 新幹線駅周辺まちづくり支援研究会(二号)

### ④ 会員交流事業

区分	内容	開催日	参加者数
会員交流会	ホテル 札幌ガーデンパレスにて	8月28日	30名



### ⑤ 実践活動研究会【07～12ページに掲載】

## まちづくり支援事業部会開催状況

活 動	概 要	開催日	会 場	参加者数
第1回部会	令和6年度事業計画、横断的事業プロジェクト	5月20日	緑苑ビル 201会議室	9名
第2回部会	令和6年度事業総括、令和7年度事業計画	1月28日	緑苑ビル201 会議室、Web	3名

## マンション建替え支援研究会研究会（一号研究会）

## 概要

活動内容	近い将来、大きな社会問題になると予想されている「マンション建替え」について、（一社）再開発コーディネーター協会のマンション建替え専門グループと一緒に、技術向上のための事例研究や情報を収集する。 マンション建替えの推進普及に努めるとともに、支援を希望する管理組合に建替えプログラムの現地指導やマンション建替え実施のコンサルティング参加も視野に入れた活動をする。
代表	武井秀爾（武井計画代表）
メンバー（21名）	大石章夫、押野和也、菅野克、北川好和、武井秀爾、田中絢人、深澤照一、堀田克典、柳澤宏、設楽亮一、横山幹人、葛西政一、濱谷雅弘、岡本浩一、内山靖久、久新信一郎、細川真生、桜田康司、遠藤明雄、田中康道、佐藤克俊
主たる活動場所	札幌市内、201会議室
活動期間	2024年度

## 活動状況

	活動	概要	開催日	会場	参加数
1	令和6年度マンション建替え等に関する勉強会	堀口氏によるマンション建替え初動期に対応方法等に関する講演	10月3日	かでの 2.7	30
2	マンション建替えネットワーク北海道との合同会議	札幌市におけるマンション建替え動向について	2月18日	201 会議室	10

再開発マニュアル研究会（一号研究会）

概要

活動目的 内 容	北まち会員、再開発検討地区団体等に向けた、市街地再開発事業の理解と事業推進のため、昨年度に引き続き、マニュアル（事業推進と関連職種）の作成と、マニュアルダイジェスト版を活用した再開発相談事業等を実施する。今年度は各自が原稿案を作成することに主眼を置いた活動となった。
代 表	能戸裕之（有限会社ジョブコム 代表取締役）
メンバー （14名）	石塚雅弘、押野和也、川瀬浩、川尻雅裕、久新信一郎、坂本行宏、武井秀爾、田中絢人、田中康道、寺内知生、能戸裕之、前川公生、横山幹人、山口重則
主 たる 活動場所	北まち事務所ほか
活動期間	2024年度

活動状況

活 動	概 要	開催日	会 場	参加数
各自の原稿案の作成に留まり会議開催なし				





## 小樽駅前第一ビル周辺地区再開発支援研究会（二号研究会）

## 概要

活動目的 内 容	小樽駅前第1ビル周辺地区における市街地再開発事業の事業化に向け、小樽駅当該再開発準備組合の要請により具体的な事業検討を進めるべく、再開発準備組合の事務局と連携・協力し、事業推進のマネジメントや資料の作成を行う。
代 表	大石章夫（有限会社大石R計画 代表取締役）
メンバー （15名）	市橋佳樹、内山靖久、大石章夫、川尻雅裕、久新信一郎、桜田康司、設楽亮一、武井秀爾、田島健太、長崎雄一、能戸裕之、福井章司、藤山三冬、本居功光、森 哲子
主たる 活動場所	小樽駅前第1ビル周辺地区
活動期間	2024度

## 活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加者数
1	準備組合理事会	定期総会提出議案	5月7日	小樽駅前ビル	3
2	第1回 全体ミーティング	令和5年度成果報告と令和6年度活動計画	5月14日	小樽駅前ビル	13
3	準備組合定期総会	令和5年度報告と令和6年度計画	5月22日	小樽駅前ビル	2
4	準備組合打合せ	JR北海道の対応	7月9日	小樽駅前ビル	5
5	準備組合打合せ	再開発施行区域の見直し検討	9月3日	小樽駅前ビル	6
6	準備組合打合せ	関係者協議状況報告	11月7日	小樽駅前ビル	10
7	第2回 全体ミーティング	活動報告と見直し事業計画報告	12月17日	小樽駅前ビル	13
8	準備組合打合せ	他地区建替え事例の説明	2月25日	小樽駅前ビル	8
9	準備組合打合せ	再開発準備組合事務局打合せ	3月28日	小樽駅前ビル	8





## JR琴似駅周辺地区まちづくり支援研究会（二号研究会）

## 概要

活動目的 内 容	JR琴似駅北側八軒地区の再開発プロジェクト実現のため、駅北側に面したエリア一体のまちづくりビジョンを作成するとともに事業検討地区の事業化に向けたケーススタディを行う。 音楽のまちづくり研究活動を実践し事業後の公開空地の有効活用等、合わせて地域コミュニティの増進及び再開発事業の啓蒙普及に寄与する。
代 表	川瀬浩（株式会社豊多 総合計画部長）
メンバー （5名）	秋山 広、川瀬浩、田中絢人、中山祐二、宮坂勝文
主 たる 活動場所	八軒会館
活動期間	2024年度

## 活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加者数
1	西区長挨拶	JR 琴似駅周辺地区の再開発事業概要及び計画等説明	5月7日	西区役所	4
2	512の日ライブイベントの企画運営実施	音楽ライブイベントの実施による公開空地の有効活用と市民参加による賑わいづくり	5月12日	イトーヨーカドー琴似店	100
3	JR 琴似駅連結空中歩廊連絡協議会開催支援	JR 琴似駅連結空中歩廊の開閉時間の再統一他、現状課題等	6月23日	琴似会館	17
4	八軒一条西地区まちづくりビジョン住民説明会開催支援	八軒一条西地区まちづくりビジョンの説明	6月26日	八軒会館	20
5	八軒夏祭り運営支援	音楽ライブイベント実施協力	7月15日	八軒会館	200
6	八軒一条西地区まちづくりビジョン第1回ワークショップ開催支援	地区の魅力について意見交換	8月30日	八軒会館	7
7	八軒連合町内会会長会談	まちづくりビジョンの進め方について	10月8日	八軒会館	4
8	市民参加のまちづくりロビーコンサートの開催運営	イトーヨーカドー閉店に合わせたまちづくり音楽イベントの開催	11月16日	イトーヨーカドー琴似店	300
9	第13回JR琴似駅前広場イルミネーション点灯式開催運営	まちづくり音楽イベントの開催	12月1日	イトーヨーカドー琴似店	150
10	八軒一条西2・3丁目周辺地区まちづくり準備組合通常総会開催支援	2024 年度通常総会の開催運営	2月27日	八軒会館	10

恵み野地区まちづくり支援研究会（二号研究会）

概 要

活動目的 内 容	これまでの地元協議会組織との良好な関係性を生かし、協議会運営の安定化に向けた支援を引き続き行う。 今年度は、まちづくり協定に関する権利者説明、100年協議会との情報交換、恵み野夏祭りの運営サポートを行った。
代 表	川尻雅裕（株式会社都市総合鑑定 代表取締役）
メンバー （7名）	大石章夫、大場眞一、川尻雅裕、武井秀爾、田中康道、能戸裕之、森哲子
主 たる 活 動 場 所	恵庭市恵み野地区
活動期間	2024年度

活 動 状 況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加者数
1	三者会議	北まち報告書の概要説明	5月9日	恵庭市役所	6
2	100年協議会総会	令和5年度報告と令和6年度計画	6月17日	恵み野西会館	2
3	恵み野夏祭り	イベント手伝い	7月28日	恵み野商店街	4
4	三者会議	「恵み野商店街ストリートまちづくり連携協定書」に基づく連絡調整会議	11月1日	恵庭市役所	17



7月28日（日）、恵み野商店街で毎年開催されている「恵み野夏まつり」に参加しました。  
当研究会メンバーは、くじ引き、ヨーヨー釣りの出店準備のお手伝いをしました。  
心配された雨も上がり、小さなお子さんからお年寄りの方まで、多くの来場者で賑わっていました。

新幹線駅周辺まちづくり支援研究会（二号研究会）

概要

活動目的 内 容	土地区画整理事業の事業化に向け、長万部町に定期的に滞在し施行者（長万部町）が行う諸業務の支援を行った。
代 表	中山祐二（株式会社中山まちづくり計画舎 代表取締役）
メンバー （3名）	押野和也、高森篤志、中山祐二
主 たる 活動場所	長万部町役場
活動期間	2024年度

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加者数
1	3者打合せ	作業分担に係る確認	5月14日	メール	3
2	初回打合せ	業務内容の確認	6月3日	長万部町	2
3	第1回中間検査	9月末までの支援内容について町による検査	9月19日	長万部町	2
4	協議資料作成助言	第1回協議資料作成助言	11月13日	(株)ソフトスケープ	3
5	協議資料作成助言	第2回協議資料作成助言	11月20日	(株)ソフトスケープ	3
6	協議資料作成助言	第3回協議資料作成助言	12月11日	(株)ソフトスケープ	3
7	第2回中間検査	11月末までの支援内容について町による検査	12月13日	長万部町	2
8	最終検査	3月末までの支援内容及び全体について町による検査	3月27日	長万部町	2

当別町市街地地区まちづくり支援研究会（二号研究会）

概 要

活動目的 内 容	地元権利者やまちづくり会社等の意向を踏まえながら、一体的な面整備手法の導入検討や、公的住宅機能の導入、まちづくり会社が展開する民間活力活用型開発事業等について、エリアマネジメント的側面を含めた検討を行う。 行政とは事業の内容や都市計画に係る内容について協議を行う。
代 表	辻井 順（株式会社アトリエアク）
メンバー （3名）	高森篤志、辻井 順、中山祐二
主 たる 活動場所	当別町市街地地区
活動期間	2024年度

活動状況

	活 動	概 要	開催日	会 場	参加者数
1	令和6年度勉強会・開催調整会議	先行事例である長沼町にて、勉強会の開催主旨説明、協力依頼取付、スケジュール調整等→これを受けて、まちづくり会社と開催調整を実施	6月14日	長沼町役場	3
2	勉強会開催準備	勉強会の開催調整	6月20日	まちづくり会社	1
3	同勉強会の開催	借上型公営住宅制度とその運用について（制度・運用説明、質疑・意見交換）	7月18日	長沼町役場	11
4	調整会議	状況確認・意見交換	9月30日	まちづくり会社	1

交流研修事業の実施状況

事業	開催内容	開催日	会場	参加者数
会員情報交流会	講師に北海道フロンティアリーグの代表、副代表をお招きし、野球を通じた地域活性化、移住・定住への取組について情報提供と意見交換会を開催。	6月27日	かでの 2.7 940 研修室	24名
まちづくり研修会	今年度は自転車とまちづくりに着目して開催。講師は北海道開発局、北海道庁、留萌市、ポロクルよる情報提供、その後は一般財団法人北海道道路管理技術センター萩原様（元北海道大学教授）の進行のもと意見交換会を行う構成として開催	11月18日	かでの 2.7 820 研修室	56名
学生くるま座トーク	講師に協議会会員の日本設計（小林氏）、大成建設（設楽氏）、ドーコン（田中氏）に再開発事業に係るそれぞれの役割について情報提供とその後意見交換会を開催。	1月16日	北海学園大学 工学部	学生17名 教員2名 講師3名 スタッフ等3名

交流研修事業部会開催状況

活動	概要	開催日	会場	参加者数
第1回交流部会会議	年度事業計画及び打合せ	5月13日	北まち事務所	8名
第2回交流部会会議	まち研を中心として事業内容の説明及び協議	6月18日	北まち事務所	7名
第1回まち研企画会議	まち研に係る企画会議（構成員：部会、企画会議）	8月6日	201 会議室	8名
第3回交流部会会議	まち研に係る当日の動きについての確認。今後の事業について	11月12日	北まち事務所	9名 (Web4名)
第4回交流部会会議	今年度事業の総括 次年度の実施事業案や体制について	2月3日	Webにて実施	8名



## 2024年度 会員情報交流セミナー

## “北海道フロンティアリーグの活動内容と地域活性化”

令和6年6月27日に会員情報交流セミナーを“北海道フロンティアリーグの活動内容と地域活性化”と題し、かでの2.7・940研修室にて開催し、24名の方にご参加いただきました。

今回は一般社団法人北海道プロ野球独立リーグが運営する地域密着型のプロ野球、北海道フロンティアリーグの全3球団の代表者様をお招きし、「野球」を通じた地域活性化について情報提供していただきました。

## 【ご説明の概要】

表題 “野球と共に歩む地域活性”

## ◆北海道フロンティアリーグの概要

- 2022年にプロ野球独立リーグとして誕生 ⇒ 美瑛市・石狩市・士別市を拠点として3球団が在籍
- 掲げるビジョン ①移住・定住促進 ②まちの賑わい創出 ③社会に貢献できる人材育成 ④子ども達に野球の魅力を伝える ⑤地域の人々の健康増進に努める ⇒ 観客動員数や SNS フォロワー数が増加してきている。

## ◆地域貢献活動について

- 野球選手であると同時に社会の一員であり、就労を通じてキャリア形成を図るウィズ・キャリアの取組を実践
- 地域への効果として、貴重な若者の人材であり、受入れ企業の社員のするアップにつながり、新たなコミュニケーションが生まれる選手個人だけではなく、企業や社会に対する相乗効果を発現 ⇒ これにより選手のスムーズなセカンドキャリアへのシフトと地域の定住を促進

## ◆球団について

- 球団の存在意義として、地域の担い手・賑わいの創出・経済効果がある
- 球団ごとに目的と理念を持って取り組んでいる

## ◆今後の展望

- 地域活性化に取り組んでいきたい
- 選手から選ばれるリーグへの成長を目指す
- 北海道フロンティアリーグのチーム数を全道各地に増やす

## 【参加者からの質問】

Q：ファンとのかかわり方について教えて欲しい

A：毎週試合があり、身近に感じて頂いている。高齢者のファンも多く選手を自分の孫のように感じている。接点を増やす取り組みを行っており、地域の買い物施設に足を運んだり、試合の最後にお見送り(ハイタッチ)をやっている。試合の後に野球教室をして、球場に入ってもらい、キャッチボールや指導をしており、地域に歓迎されるチームづくりに心がけている。

Q：70%の選手が毎年入れ替わると言うのは人材はどのように考えられているのか

A：独立リーグは本州でも50～60%は入れ替わっていきます。NPB から漏れている人たちで現役世代ターゲットにしており、働きながらキャリアを作ってもらくことを目標にしている。



## 2024年度 技術者くるま座トーク @ 北海学園大学

### テーマ：マチケンチュクひと～マチからケンチュクするおしごとの世界～

令和7年1月16日(木)に北海学園大学工学部構内にて「技術者くるま座トーク」を開催しました。

今回はマチケンチュクひと～マチからケンチュクするおしごとの世界～をテーマにマチとケンチュクの関係について実務の話を通じてご紹介頂くことを目的として、計画から施工までの流れやそれぞれの立場や役割の違いについて、部門別の講師にご説明頂き、今後の就職活動や社会人生活に活かしてもらうことを目的に実施しました。

16名の学生さんにご参加いただきました。

#### 【講師】

- ・都市計画：小林 史嗣 氏(株式会社日本設計 都市計画群)
- ・事業：設楽 亮一 氏(大成建設株式会社 札幌支社)
- ・設計：田中 純人 氏(株式会社ドーコン 総合計画部)

講師の皆様からはそれぞれのお立場からケンチュクからまちづくりや公共貢献に取り組む内容やこれまでのご経験から大切にすべきことなどについて、お話を頂きました。

その後は、北海学園大学の岡本教授の進行により、敷地を超えて都市全体をデザインする“都市建築”や都市と建築の繋がり、再開発事業を通じた公共貢献など、エンジニアとしての重要なスタンスや地域との繋がりなどについて、議論が交わされました。

ご参加者・ご登壇者の皆様、ありがとうございました。

今後も継続的な事業の推進とより良い会となるよう検討していきます。





## 令和6年度 まちづくり研修会

## “自転車による地域づくり・拠点の再生” ～自転車の活用による魅力ある地域づくり～

令和6年11月18日(月)に、かでの2・7、8階820研修室にて、令和6年まちづくり研修会を開催し、合わせて56名にご参加いただきました。

## 《講師》

伊藤 典弘氏(北海道開発局建設部 道路計画課)  
天野 宗一郎氏(北海道総合政策部地域政策課)  
海野 聡氏(留萌市地域振興部 部長)  
熊谷 美香子氏(認定 NPO 法人ポロクル 事務局長)  
萩原 亨氏(一般財団法人 北海道道路管理技術センター 顧問)

今年度の研修会のテーマは「“自転車による地域づくり・拠点の再生” ～自転車の活用による魅力ある地域づくり～」と題し、自転車を活用した地域づくりに関する取組を推進している北海道開発局、北海道、留萌市、認定 NPO 法人ポロクルの皆様にご登壇いただき、日常生活において身近な移動手段としての役割を担ってきた自転車を活かしたこれからのまちづくりについての考えをご講演いただきました。

前半は、講師の皆様から情報提供をいただきました。

始めに、北海道開発局建設部道路計画課の伊藤典弘氏より、『国の自転車施策について』と題し、安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインの改定など自転車施策に関する最近の動向やセイコーマートと連携した店舗へのサイクルラック設置など北海道におけるサイクルツーリズムの推進に向けた取組状況、自転車活用推進計画のメリットや道内の策定状況など幅広くご紹介いただきました。

続いて、北海道総合政策部地域政策課の天野総一郎氏より、『北海道における自転車空間や拠点形成』と題し、現在第2期目に突入した北海道自転車活用推進計画の概要、及び自転車関連計画の策定促進や自転車の安全利用、アドベンチャートラベル(AT)の推進など第2期計画に基づく施策の推進状況、その他、拠点として「サイクルオアシス」の整備と展開についてご講演いただきました。

次に、留萌市地域振興部の海野聡氏より、『“モンベルアウトドアヴィレッジるもい”の実現に向けて～サイクリング等を活用したアウトドア観光の推進～』と題し、道の駅るもい内の広大な敷地を活用し、モンベルと連携したアウトドア・アクティビティを楽しむための拠点整備や、道内のサイクルルートの一つであるオロロンライン・サイクルルートにおける取組概要など、留萌市にとって100年に一度の大転換期における今とこれからについてご講演いただきました。



## 令和6年度 まちづくり研修会

最後に、認定 NPO 法人ポロクルの熊谷美香子氏より、『シェアサイクル“ポロクル”を通したまちづくり』と題し、にぎわい創出や放置自転車減少など地域課題の解決に資するシェアサイクル「ポロクル」の導入から現在までの活動、そして今後の方向性について、途中抱えていた設備・システム老朽化や収支構造などの課題解決に対する当時の苦労や考え方を交えながらご講演いただきました。

後半は基調講演で情報提供いただいた 4 名に加え、一般財団法人北海道道路管理技術センターの萩原亨顧問をコーディネーターとして、5 名での意見交換会を行いました。

まちづくりやアクティビティに関わる拠点形成の在り方、自転車活用計画の推進やまちづくりとの関係性に加え、道路配分の再配分などについても議論が交わされました。

インバウンド向けや地域型など地域活性化に資する自転車活用方策の事業化に向けた課題や、バスやタクシー等既存のモードに対する自転車のアプローチなど、大変貴重なお話をご提供いただくことができました。



情報広報関連事業の実施状況

事業	実施内容
ホームページ	ホームページ掲載内容、活動ブログを随時更新
メールマガジン	会員に向けて随時発信（協議会メールインフォメーション）
年間活動報告書作成	年度毎に北まちホームページにアップ
連載企画の実施	座談会を実施し HP に連載読み物を掲載 テーマ：「地域づくり」そして「食と観光」



2023年10月、札幌中心部から定鉄バスで約40分、自然豊かな農園エリア八剣山を訪れ、座談会メンバー亀和田俊一氏が経営する“八剣山キッチン&マルシェ”で「地域づくり、そして、食と観光」をテーマに座談会を開催しました。ゲストメンバーに北海学園大学准教授 新沼協氏もお迎えし、当協議会会員 濱本豊氏を加え、当協議会副会長 岡本浩一氏の司会で興味深いお話が繰り広げられました。





参加者：〈司会〉当協議会副会長（北海学園大学工学部教授） 岡本浩一氏  
 〈ゲスト〉八剣山ワイナリー代表 亀和田俊一氏 北海学園大学工学部准教授 新沼協氏  
 元当協議会会員 濱本豊氏

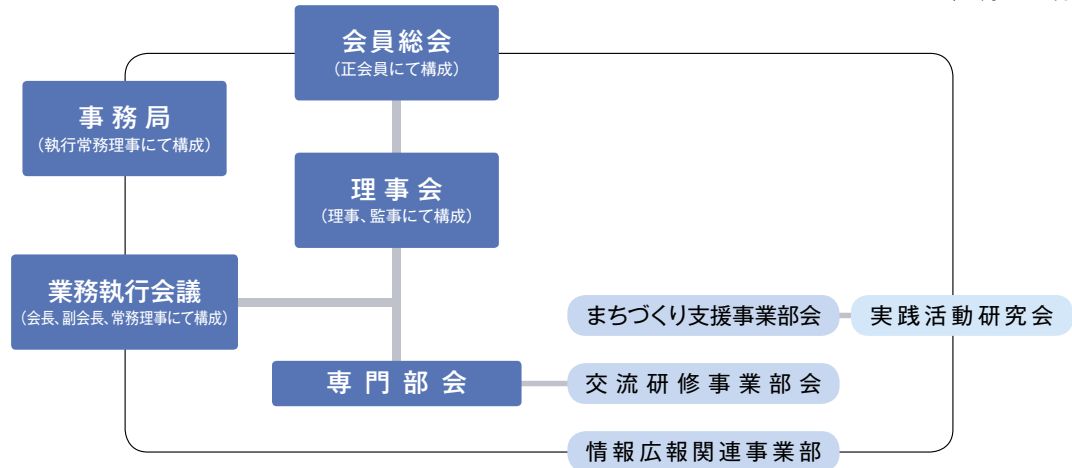
[THE座談会 in 八剣山「地域づくり」そして「食と観光」 vol. 1](#)  
 ↑ここから HP の“THE座談会”にリンクできます。

情報広報関連事業部会開催状況

活動	概要	開催日	会場	参加者数
情報広報関連事業部会	令和6年度の部会活動 ほか	5月23日	北まち事務所	5名



## 【組 織】



## ■専門部会事業内容

(1) まちづくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各分野に関する調査研究、支援、提言             <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの活性化、まちマネジメント、エリアマネジメント、コミュニティの活性化</li> <li>・再開発事業、マンション建替え事業</li> <li>・多様な専門家や分野との連携をいかしたまちづくり</li> </ul> </li> <li>●実践活動研究会（自主支援事業）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の自主支援活動として、まちの活性化やマネジメント、地域コミュニティの形成、再生、活性化、及び再開発などのテーマで実践活動を行う研究会</li> </ul> </li> <li>●まちづくり研究事業</li> </ul>
(2) 交流研修事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会員情報交流会、まちづくり研修会、会員交流研修会（勉強会、視察会）等の実施運営             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員のスキルアップや交流、得意分野の紹介などを通じて、情報把握などができる機会・場づくり</li> </ul> </li> </ul>
(3) 情報広報関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまなメディアを通して、協賛会の活動やまちづくりに関する情報を発信             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、HP特集記事、ブログ、メールインフォメーション等</li> </ul> </li> </ul>

## 【役 員】

特 別 顧 問	大 石 章 夫	有限会社大石 R 計画 代表取締役
顧 問	森 哲 子	クオリアット 代表
顧 問	大 場 眞 一	個人正会員
相 談 役	濱 谷 雅 弘	まち育て工房「はまや」主宰
会 長	能 戸 裕 之	有限会社ジョブコム 代表取締役
副 会 長	岡 本 浩 一	北海学園大学工学部建築学科 教授
常 務 理 事	川 尻 雅 裕	株式会社都市総合鑑定 代表取締役
常 務 理 事	高 森 篤 志	株式会社ソフトスケープ 代表取締役
常 務 理 事	武 井 秀 爾	武井計画 代表
常 務 理 事	田 中 康 道	弁護士法人札幌英和法律事務所 弁護士
常 務 理 事	山 口 重 則	YAM 建築計画 主宰
常 務 理 事	川 瀬 浩	株式会社豊多 総合計画部長
理 事	阿 部 公 一	株式会社ドーコン 取締役常務執行役員 都市・地域事業本部長
理 事	石 川 勝 利	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社 支社長
理 事	岩 田 徳 夫	岩田地崎建設株式会社 取締役専務執行役員
理 事	渡 辺 淳	伊藤組土建株式会社 執行役員営業本部 副本部長
監 事	横 山 幹 人	株式会社北海道鑑定 代表取締役

## 【事業部会長】

まちづくり支援事業部会	中 山 祐 二	株式会社中山まちづくり計画舎 代表取締役
交 流 研 修 事 業 部 会	大 島 有 史	熊手フィールド株式会社 代表取締役
情 報 広 報 関 連 事 業 部 会	押 野 和 也	日本データサービス株式会社企画部 課長

## 【法人正会員】

2025年3月31日現在

	会 員 名
1	株式会社アークデザイン
2	株式会社アトリエアク
3	株式会社アーレックス
4	アルファコート株式会社
5	伊藤組土建株式会社
6	岩倉建設株式会社
7	岩田地崎建設株式会社
8	有限会社大石 R 計画
9	熊手フィールド株式会社
10	弁護士法人札幌英和法律事務所
11	札幌通運株式会社
12	清水建設株式会社北海道支店
13	有限会社ジョブコム
14	株式会社シン技術コンサル
15	株式会社ズコーシャ
16	株式会社鈴木東建
17	有限会社ステージ
18	住友不動産株式会社北海道事業所
19	セコム株式会社
20	株式会社セダー
21	株式会社ソフトスケープ
22	株式会社大京北海道支店
23	大成建設株式会社
24	タイムズ 24 株式会社
25	大和ハウス工業株式会社 北海道支社 北海道マンション事業部
26	株式会社タカラレーベン
27	株式会社東京ソイルリサーチ札幌支店

## 【個人正会員（税理士・技術士等）】

	会 員 名
1	中嶋・佐藤 司法書士・行政書士事務所 中嶋 成美
2	中村和雄税理士事務所 中村 和雄

	会 員 名
28	東京美装北海道株式会社
29	株式会社ドーコン
30	株式会社都市総合鑑定
31	戸田建設株式会社 札幌設計室
32	飛島建設株式会社 札幌支店
33	株式会社トラストコンサルティング
34	株式会社中山まちづくり計画舎
35	日本国土開発株式会社札幌営業所
36	株式会社日本設計
37	日本データーサービス株式会社
38	一般財団法人日本不動産研究所北海道支社
39	一般社団法人日本メインストリートセンター
40	株式会社バンテック
41	株式会社フージャースコーポレーション
42	株式会社フジタ北海道支店
43	株式会社豊多
44	北海道印刷企画株式会社
45	北海道ガス株式会社
46	株式会社北海道鑑定
47	街制作室株式会社
48	丸彦渡辺建設株式会社
49	株式会社宮川建設
50	株式会社宮坂振興社
51	明和地所株式会社
52	株式会社山下設計 北海道支社
53	有限会社ワイズデザイン アンド マネージメンツ
54	和光技研株式会社

## 【個人正会員（個人事業主）】

	会 員 名
1	エイチオーデザイン 法邑 悟
2	クオリアット 代表 森 哲子
3	武井計画 代表 武井 秀爾
4	YAM 建築計画 主宰 山口 重則

## 【個人正会員（一般）】

2025年3月31日現在

会 員 名	
1	石塚 雅弘
2	一戸 勝巳
3	内山 靖久
4	大場 眞一
5	岡本 浩一
6	葛西 政一
7	片岡 道宣
8	川村 茂
9	菅野 克
10	佐藤 市郎

会 員 名	
11	堂 善之
12	中村 清司
13	西田 政道
14	西間 敏幸
15	濱谷 雅弘
16	深澤 照一
17	藤山 三冬
18	松井 泰友
19	吉村 廣

## 【賛助会員】

	会 員 名
1	恵み野商店会
2	まちづくり会社小樽駅前ビル株式会社
3	当別まちづくり株式会社

## 【特別会員】

会 員 名	
1	岩見沢市
2	恵庭市
3	雄武町
4	音更町
5	長万部町
6	帯広市
7	倶知安町
8	訓子府町
9	士幌町
10	せたな町
11	滝川市

会 員 名	
12	千歳市
13	当別町
14	苫小牧市
15	苫前町
16	ニセコ町
17	登別市
18	函館市
19	東川町
20	紋別市
21	利尻町
22	稚内市

2024 年度末現在の会員数							計
正会員	法人	54	賛助会員	3	特別会員	22	104
	個人	25					
U-30 トライアル制度登録者			1				1

## 地域に根ざしたまちづくりに求められる「4つの分野」

## 1 組織化

地域に根ざしたまちづくりを進めるため、ビジョンを共有し行動力を伴う協力関係をまちのなかに構築することです。



## 2 デザイン

まちなみ景観、建築ファサードや屋外広告物、道路附帯設備等、地域内の物理環境を、まちのイメージに配慮し整えることです。



## 3 プロモーション

地区ならではの特徴を、来街者や商業者に加えて起業家や投資家等にもアピールすることです。



## 4 経済再生

経済基盤を再活性するため、地域の産業や地域らしさを活かす取組み等と連携しながら、経済活動を多様化し強化することです。



KITAMACHI

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

## 2024年度 活動報告書

〔発行〕

一般社団法人 北海道まちづくり協議会

札幌市中央区北3条西7丁目-1緑苑ビル2階

TEL.011-232-0926 FAX.011-222-5697

Email : [info-ad@kitamachi.org](mailto:info-ad@kitamachi.org)